

奈良市自治連合会だより

第38号

発行 「奈良市自治連合会
だより」編集委員
発行部数 13,000部

住民参加の安心安全なまちづくりを

令和7年度、奈良市自治連合会では地域課題検討部会と地域自治協議会推進部会を設置し、それぞれ地域自治の推進と課題解決に向けて議論してまいりました。

地域課題検討部会では「地域における自治会の役割と担い手不足に対する方策」について、奈良市自治連合会を地域で8つに分けたブロックごとで話し合いました。

【地域における自治会の役割（防災防犯機能）】

自治会の役割には行政との協働機能や環境整備機能などがあります。なかでも「防災防犯機能」は、自治会長研修会のアンケートでも回答者の半数以上の方が最も重要だと回答されています。

各自治会では、防災防犯機能を強化するために様々な取り組みが行われています。

【担い手不足に対する方策（面識社会をつくる）】

定年退職の年齢が高くなったことや共働きの世帯が増えたことなどの影響もあって、役員を引き受けてくださる方を見つけることが難しくなり、ご苦労されていることと思います。

住民同士の交流の場で「顔の見える関係」を築いておくことと声をかけやすくなるのではないのでしょうか。

防災防犯機能

• 自治会防災訓練、地区防災訓練

住民の防災意識の向上、防災計画の検証が可能になります。

• 防火管理者の選任

防火管理者は、資格（講習の受講・修了により取得）を有する人で、消防計画を作成し、消火器や消火用バケツ等消防用設備の維持管理や消火訓練等を行います。

• 防災倉庫の管理

災害発生時、行政からの支援があるまで自分たちで対処しなければなりません。水や食料などの生活必需品、簡易トイレやトイレトーパーなどの衛生用品、救急箱や発電機などの救助物資等々。自治会で話し合って必要なものを揃えておくと安心です。

• 防犯パトロール、見守りの実施

あいさつ運動や児童の登下校の見守りから顔の見える関係に。地域内で声を掛け合うことで空き巣などの犯罪を未然に防ぐ効果が期待できます。

自治会の役割と担い手確保

令和7年12月17日（水）地域課題検討部会に奈良帝塚山大学名誉教授の中川幾郎氏



を講師にお迎えし、部会での研修会のように「地域における自治会の役割と担い手を確保する方策について」と題して研修会を行いました。

自治会の役割のうち防災機能については、阪神淡路大震災当時、豊中市役所市長公室広報課長であったご自身の体験をお話いただきました。

震災発生時、市役所も市職員も被災しており、ライフラインが停止しているなか、被災初動期の3日間、避難所等の対応にあたったのは主に地元の連合自治会や婦人会などの地域団体でした。そのときの経験が教訓となり、「いかに地域団体を大切にするべきか」ということが、現在のご自身の学術的課題になったとのことでした。

担い手確保については、防災士養成講座などリーダーや世話役を育成するための行事の開催についてご提案があり、併せて〇〇士・師といった資格をお持ちの方を把握しておくこと、いざというときに助けになってくれると話されました。

他に面識社会の重要性や地域の担い手づくりに必要な自治体の政策、地域コミュニティのあり方など話していただきました。

大災害などの緊急時に地域力を発揮するには、日頃から隣近所あいさつし合い、言葉を交わす関係を築いておくことが大切です。お互いさまの精神で日々助け合っていきたいものです。

面識社会をつくる

• 通学路の見守り

見守りを行うことで顔見知りが増え、道で会えばあいさつする関係になっていきます。

• 多世代交流イベントの開催

子どもから年配の方まで楽しんで参加できるイベントが、顔見知りをつくる機会になります。

• 気軽に参加できる交流の場を設ける

最初は参加だけでも。ささやかな手伝いからいずれは企画メンバーになっていただきましょう。

奈良市の地域自治組織づくりの歩み

奈良市自治連合会では、平成19年から地域自治協議会先進地への視察訪問や、研修会等を行い、平成25年7月24日、当時大安寺西地区自治連合会会長であった梅林聡介氏を委員長に会員10名で「地域自治協議会検討委員会」を結成しました。

平成26年には「地域自治組織部会」を設立し、毎月開催される奈良市自治連合会の定例会のなかで検討委員会での審議内容や視察についての報告、講演会等を行いました。

平成27年には地域自治協議会設立に向け先進地区的役割となる「パイロット地区」を選定し、「出前講座」などの支援を行うこととしました。

出前講座では、当時奈良市自治連合会相談役であった大宮地区の吉岡正志氏が要望のあった地区に講師として出向き、地域主要4団体を対象に地域自治協議会について説明しました。

また同年、100年会館において「奈良市地域活動セミナー」を開催し、平成30年以降は定期的に「地域づく

りセミナー」を開催するなど地域主要団体への広報に努めてまいりました。

地域各種団体のご理解とご協力に感謝しますとともに、今後もさらに設立を推進していきたいと思ひます。



地域自治協議会先進地の取り組みを学ぶため視察訪問を実施（写真は豊中市）



地域自治協議会について理解を深めるために実施した「出前講座」には地域主要団体の皆様にご参加いただいた



外部講師をお招きし、地域主要団体の代表を対象とした「地域づくりセミナー」を開催



地域自治協議会検討委員会と奈良市協働のまちづくり推進庁内検討委員会による「合同会議」を開催



地域自治協議会設立推進の主な取り組み



※ 講師の肩書きは当時のものです。

年月日	取り組み
平成19年1月15日 ～16日	住民自治協議会視察（伊賀市） 松阪市コミュニティ活性化検討委員会提言書について研修（松阪市）
平成24年12月20日	講演会「自治会・自治連合会のコミュニティ強化と行政との関わり」講師：帝塚山大学 中川幾郎教授
平成25年	地域自治協議会先進地視察（伊賀市・八尾市・豊中市）
7月24日	「地域自治協議会検討委員会」結成
平成26年 5月	「地域自治組織部会」設立
10月15日	講演会「なぜ地域自治協議会システムが必要なのか」講師：帝塚山大学 中川幾郎名誉教授
平成27年	「パイロット地区の選定」
7月16日	「第1回合同会議」開催
10月12日	「奈良市地域活動セミナー」開催 講師：帝塚山大学 中川幾郎名誉教授
11月24日	「第2回合同会議」開催
平成29年 2月	地域自治協議会先進地視察（名張市・岐阜市・草津市）
平成30年 1月21日	「地域づくりセミナー1」開催 講師：立命館大学 乾亨教授
4月	「地域自治協議会の設置及び認定等に関する要綱」「地域自治協議会準備交付金交付要綱」施行 15地区が地域自治協議会準備交付金申請
12月 1日	「地域づくりセミナー2」開催 講師：奈良県立大学 佐藤由美准教授
令和 元年 6月23日	「自治会長研修会」開催
12月議会	「市民参画及び協働によるまちづくり条例の一部改正案」可決
12月26日	市民参画及び協働によるまちづくり条例の一部改正施行、規則制定。地域自治協議会が法的に明確化される
令和 2年 2月 8日	「地域づくりセミナー3」開催 講師：帝塚山大学 中川幾郎名誉教授
令和 3年 3月14日	「地域づくりセミナー4」開催 講師：帝塚山大学 中川幾郎名誉教授
10月20日	「地域活性化セミナー」開催 講師：NPO法人 SEIN 宝楽陸寛事務局長（地域づくり推進課主催）
12月15日	「地域活性化セミナー」開催 ワークショップ（地域づくり推進課主催）
令和 5年	「地域自治協議会検討委員会」を「地域自治協議会推進部会」に変更

個性ある地域自治協議会の名称

令和元年に11地区が奈良市から地域自治協議会設立の認定を受けて以降、令和8年2月現在まで18地区が設立の認定を受けています。

地域自治協議会の名称は、各地域の話し合いで決定され、地域の個性が反映されています。名称や活動内容は地域の状況に合わせてそれぞれですが、住民自治によるまちづくりを行うための、地域を一体化した新たな地域コミュニティ組織であることは同じです。



地域自治協議会設立認定日

令和元年6月18日	大宮地区自治協議会 大安寺西川辺のまちづくり協議会 学園南地域自治協議会 左京地区地域協議会 佐保台地区地域自治協議会
同年7月19日	済美地区地域自治協議会 済美南地区自治協議会 佐保地域自治協議会 平城西地域自治協議会 二名地域自治協議会 朱雀地区まちづくり協議会
令和2年8月14日	奈良帝塚山地域自治協議会
令和3年4月12日	明治地区自治協議会
同年7月19日	あすか地域自治協議会
令和5年7月5日	西大寺北地域まちづくり協議会
同年8月24日	田原地域自治協議会
令和6年7月11日	六条校区まちづくり協議会
令和7年3月31日	つるまい自治協議会

これからのまちづくり

奈良市自治連合会会長 作間 泉

地域自治協議会のこと。まちづくりのこと。少しお話をさせてください。

“地域自治協議会ってよくわからない”

“自分たちの地域は仲良くやっています”

“何で今更新しい組織を作る必要があるの？”

“必要ない” “地域の仕事が増える” など・・・

地域自治協議会設立に対したくさんのご意見を頂戴しております。

確かに、皆さんのご意見は一理ありますが、そんなに難しく考える必要はないと思います。

新しい組織を作るのではなく、地域の関係団体が一つの大きな輪になって、地域課題の共有と解決に導くための協議体を作るのです。

そして、その関係団体がいくつかの部会として活動し、より良いまちづくりのために考えます。

すなわち、地域全体で包括的にまちづくりを考える大きなテーブルを作るだけです。

行政からは、その協議体に持続可能な交付金を支給していただき運営していく。

これが地域自治協議会です。

「地域自治協議会検討委員会」は、平成25年7月に梅林聰介氏、吉岡正志氏を中心に結成されました。

そして、令和5年度より“検討”から“推進”へと発展し、現在は「地域自治協議会推進部会」として設立推進に取り組んでいます。

今年度は、地域自治協議会がこれからのまちづくりにおいて必要不可欠な組織であることを、わかりやすくご説明できるよう、抜本的な改革をしていきたいと考えています。

将来のまちづくりのことも見据え、みなさまに参加しやすい仕組みづくりを考えて参ります。

これからもご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

自治連合会経験者の 今だから言えるコト

青山地区 西田 則子さん

令和3年に奈良市自治連合会副会長を辞任して、数年も経っている今、奈良市自治連合会だよりの原稿依頼を受け、戸惑っています。

青山地区自治連合会は奈良市で50番目の連合会として奈良市自治連合会に加入し、地域の難しさを感じながら色々な経験をさせていただきました。

コロナ感染症が流行する前で、奈良市自治連合会として課題が沢山あったので、積極的に活動に参加していました。斎場、清掃工場、地域自治協議会関係で多方面に視察に行くこともありました。忙しい日々を過ごしましたが、得るものも沢山あったこと

に、今は感謝しています。

地域自治を推奨すると同時に、奈良市から地域においてくる課題、配布物関係は多くなった気がしたのは私だけだったのでしょか。

地域が抱える問題は多様化かつ複雑化をしているにも関わらず、担い手の高齢化、人材不足など益々課題が増えてきている今、各々が他人事ではなく自分事として自分に出来るところから、無理をせずに参加してもらえる工夫をどうすればいいか、今、連合会とは違うところで苦慮しています。

最後に、女性の立場から言わせていただければ、地区自治連合会会長は圧倒的に男性が多数です。もっと、女性会長が増えることを願いつつ、今後の更なる発展と今まで以上に奈良市とのパートナーシップで市民がより安心・安全して暮らせるようになることを切に希望しています。

わがまち自慢

— 地域紹介 —

安心・安全のまちづくり

大安寺地区自治連合会

大安寺地区は、南都大安寺を中核に1300年の歴史ある町です。その昔「空海」をはじめとする、僧侶800余名がこの「大官大寺」にて修行に励んでおられたと史書にあります。

今、この八条・大安寺地域は大きく変わろうとしています。県内で唯一、高速道路と鉄道の交通結節点となるため、極めてポテンシャルの高い地区です。そのため平成29



JR新駅周辺の整備イメージ

年6月に奈良県と奈良市で新駅を核とした、新たなまちづくりへ基本協定が策定されて、最先端の情報技術を活用し高度

な都市サービスを提供するAIタウンを目指しての「まちづくり」が計画されています。

奈良市では、JR関西線の高架化事業並びに新駅の設置に伴う、駅前ロータリーの整備、また京奈和自動車道奈良インター周辺道路、西九条佐保線・東西道路の整備や土地区画整理事業等が急がれるところです。

そして周辺エリアについてはこのまちづくりを進めるにあたり「新たな産業の創造・更なる交通創出の拠点・安心安全なまち」の実現、また副都心となるべき可能性に期待感が高まっているところです。

このように、我が町が日々刻々変わりつつある現状に地域住民は期待と不安感が交錯している今日この頃ではあります。



大安寺地区都市計画整備対策協議会の会議の様子

なにはともあれ、安心と安全なまちづくりをモットーに、自治連合会定例会では毎回のように話し合いを続けているところです。

全員参加で取組む街づくり

奈良 帝塚山地区自治連合会

奈良帝塚山は奈良市西部で生駒市・大阪と隣接する地域です。令和7年1月現在、3,559世帯 7,707人の街です。その中で、弊自治連合会は14自治会(2,652世帯)が加入し組織化しています。

令和2年7月に、地域自治協議会準備委員会を経て、奈良帝塚山地域自治協議会を設立しました。地域自治協議会は、地域社会部会(自治連合会:14自治会)と社会福祉部会(民生・児童委員会含む)、安心安全部会、教育子育て部会、地域青年部会の5部会から構成。部会は、14自治会と12の団体・グループから構成されています。協議会役員は38名で、毎月1回の定例会を通じて、各団体・グループの活動内容の紹介と情報共有を行い、必要に応じて各団体・部会間で調整を行い活動の方向性を決定しています。

その協議会の活動拠点として、令和7年4月に《奈良市帝塚山地域ふれあい会館》が設立されました。現在、会館の利用向上に向けた取り組みを行っています。

今年度の協議会活動取り組みは、次の3点です。

1. 「帝塚山地域ふれあい会館」の利用促進
2. 「帝塚山地域フェスタ2025」の開催
3. 「地域 花いっぱい運動」の推進

今回は、2. 「帝塚山地域フェスタ2025」の取り組みについてご紹介します。

開催は、ふれあい会館(旧幼稚園跡地)グランド等で11月2日(日)に行いました(1,055名参加)。イベント演出(9グループ)、模擬店(24店)の参加で小規模ながら大変賑わいました。

仲川市長にも来場いただき、ドローン写真を撮りながらの開催スタートとなりました。また、《ポッチャ》や《芋ほり》の体験や住民の作品展示会も盛り上がりしました(約320名参加)。当日は、住民も楽しいひと時を過ごすことができました。特に、最後の「ビンゴゲーム」(80点の景品:目玉景品 任天堂switch II)は、最高潮の盛り上がりでした。



帝塚山地域フェスタ 2025 のにぎわい

編集後記

昨年、過去に奈良市自治連合会会長をされた方が、相次いで亡くなられました。その功績に感謝し、御三方の安らかな眠りをお祈りいたします。「温故知新」過去を振り返りつつ、新たな発想で諸問題の解決に向けた知恵を出し合って積極的に活動を進めていきましょう。(編集委員)